

夢 限 大 ∞



夢・無限大

およそ3年前に命名された年次通信のタイトルは、高校生活の中で夢が無限に広がることを願ってのものでした。高校入学以来、長いとも短いとも言える3年の間にたくさんの体験をして、数多くの夢と可能性を考えてきたことでしょう。そして、3年生になって自分の将来と向き合い、進むべき道を選択しました。高校を卒業すると新生活が始まり、全員が今までと違う生活、人間関係、プレッシャーに向き合うことになります。卒業することは終わりではなく、新生活の始まりです。他の人とは違う、自ら選んだ道を進み、さらに多くの可能性と向き合い将来の選択をしていくことになります。

何かの終わりは、別の何かの始まりといった言葉があったと思います。このような終わりと始まりの境目には必ず生活環境や人間関係の変化があり、日常生活の変化は生涯のライフイベントの中でも特に強いストレスを感じる出来事であると本で読んだことがあります。環境の変化は自身のトラブルよりも強いストレスを感じるものだ。新しい生活に慣れない、不安だ。このような時はぜひ過去のことを思い出してみてください。環境の変化にストレスを感じる以上に、大きな夢と希望をもつためにです。環境の変化に耐えられずに道がふさがったように感じたとしても意外に可能性は残っているものです。また、過去の経験の中には自分を救い、先に進む力が潜んでいるかもしれません。自分が普段意識していないだけであって、夢を見て叶える力はずっと自分の中にあり続けるものです。

ですから「夢限大」もここで終わりにせず、もう一度スタートさせて欲しいと願います。これからも夢は果てしなく広がっています。また、その夢を叶える力はこれからも無限大であると信じています。60回生は私たちがいつも見える場所からはいなくなるのかもしれませんが、この言葉がいつまでも心に残り、青森東高校の生徒だったのだと、過去と今と未来をつないでくれることを願っています。



3月下旬に最後の年次通信「だるまの目の行方」をClassiで配信します。

